

令和5年1月24日

大会参加チーム 関係者 各位

一般財団法人山口県水泳連盟  
水球委員長 神田 久輝

第45回（2022年度）全国JOC  
ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会  
水球競技 中国地域予選会への参加にあたって  
【新型コロナウイルス感染症対策に関する追加の制限について】

平素より、本連盟の活動に種々ご支援・ご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症について予断を許さない状況が続いています。

つきましては、本大会への参加に際しては、すでに公開している本連盟ガイドライン、日本水泳連盟ガイドラインや各種チェックリストに加えて、下記事項を必ず順守していただきますようお願いいたします。

記

【参加者（選手・引率・帯同審判・一般観客）】

- (1) 来場 72 時間以内（正当な理由がある場合は最長 1 週間以内）のウイルス検査（PCR、TMA、SmartAmp、抗原定量、抗原定性など）を行い、陰性を確認する（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要）。  
※長距離（県外から）移動の競技役員・大会関係者もウイルス検査の対象とします。また、チーム帯同審判で大会期間中チーム引率を兼務される方はチームスタッフとしてウイルス検査の対象とします。
- (2) 市販の抗原検査キットについて、原則として研究用ではなく医療用（体外診断用医薬品（薬事承認あり））を推奨する。
- (3) 濃厚接触者は、感染者と最終接触した日を0日として2日目および3日目に薬事承認された抗原定性検査キットを用いた検査を行い、2日目、3日目の結果が陰性であれば、3日目の陰性が確認できた時点から競技への参加を可能とする。なお、濃厚接触者の定義については国もしくは山口県の方針に従う。
- (4) 来場初日から遡って7日以内に所属チーム内で感染者が出た際に、出場予定の競技者が感染者もしくは濃厚接触者に該当しない場合は、（原則）来場する 72 時間以内の検査で陰性確認をすることで競技会出場を可能とする。
- (5) 大会期間中にチームから3名以上の陽性者が確認された場合は、チームの出場を禁止する。
- (6) 大会期間中に体調不良となった場合に大会実行委員会としてウイルス検査は実施しない。やむを得ずチームで検査を実施して陽性となった場合の移動等に関しては、各チームで対応すること。
- (7) 大会終了後、10 日以内に陽性者が発生した場合は、遅滞なく大会実行委員会に報告すること。

以上